

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年四月度 入選句（投稿総数四百七十六句・一般投句数四百二十句）
特選 選者 大西 誠一

誰にでも悲喜の思い出 大試験 滋賀県甲賀市 甲賀 忍者

この句を読んだ時、先ず感じた事は、「ああ」そうだなあと感心した事。中七の「悲喜の思い出」がすばらしい。私事で大変申し訳ないが、人生に於て試験は学校の入試、就職試験、会社へ入つてからの試験とあるが、私の場合、昭和四十四年の入社、四日市公害のまつただ中で公害の国家試験を三回目でもうやく合格した話。
大気一種と言う分野があり、合格率八パーセント結婚して子供が二人いて、社宅で好きなビールをたち、扇風機の中三ヶ月間勉強した事を思い出す。でも子供をあやしなから妻が気を使ってくれた事を今でも感謝している。たった十七文字で読者に共感を与えるほんとうにすばらしい句である。

蝌蚪飼ふと母に抗ひ泣く子かな 福岡県福岡市 大津 英世

小生も子供の頃、悪くなった洗面器を母からもらい目高、ドジョウ、いもり等を飼つた事を思い出す。
おたまじやくしは先ず、後脚がはえてきて、前脚が出てきて、尻尾が無くなる。お母さんは、いっしょに蝌蚪を大事に育てて欲しい。ほんとうに良い句です。

最後には葉をかみしめて桜餅 福井県敦賀市 山田 美千代

誰が塩漬けにした桜の葉で餅を包んで食べる様になつたか、決して欧米の人には理解できない。上五から中七の「最後には葉をかみしめて」がすばらしい。この美味しさは日本人しか判らないと思う。すばらしい句である。

秀逸

ウイルスを洗い流せよ春の雨 愛知県碧南市 古井 恵
薄氷を割る腕白に順序あり 東京都世田谷区 関戸 信治
ランナーの相棒は靴山笑う 東京都北区 菱沼 多美子
野の匂ひ山の匂ひや水温む 大垣市 村田 通夫
被災地ゑ一声残し鳥帰る 不破郡垂井町 富田 実郎
躰糸 抜けば卒業袴かな 大垣市 秋山 くに子
浚渫船の音賑賑し春の川 大垣市 樋口 絹子
浮き立ちて今日は派手目の花衣 大垣市 新町 恵子
斑雪山農具手入れの腰伸ばす 神奈川県川崎市 佐藤 廣枝
ウイルスは華の三月塗りつぶす 大垣市 平野 ヒサエ

入選

雁帰る越路の湖をいくつ越え	福井県敦賀市	山田	美千代
くずし字の解説講座初桜	埼玉県川崎市	大沢	きみい
あとすこし眠りの中で春の雨	大垣市	娑	婆
空青しナンジャモンジャの花の彩	岐阜市	小川	のぶ子
抗がえず娘は黙し絵踏みせり	大垣市	安田	むっこ
生と死の背中合わせの絵踏かな	大垣市	藤岡	啓子
米寿来て免許返納田の桜	不破郡垂井町	宮代	一草
野遊びの母子寄りそふ童歌	大垣市	大角	信華
児童なき校庭淋し春の風邪	不破郡垂井町	高木	紫雲
嘴長き鳥のさわぐや花の中	大垣市	臼井	秀子

入選

桜旅「行くな」と息子の氣遣いか	京都府城陽市	村松	秀一
春休み子良の笑顔が消えた町	京都府宇治市	上野	忠夫
炊きたての御飯にさつと花菜漬	愛知県額田郡	平松	京師
著莪の花ウイルスさけて夫の墓	不破郡垂井町	竹嶋	富美子
佐保姫の何時しか去りし結びの地	大垣市	神野	武彦
髪切って少し背伸びし卒業す	大垣市	大杉	すみゑ
春耕の地に溢れくる鰯の声	三重県四日市市	後藤	允孝
一人酒分葱のぬたを当てにして	大垣市	村瀬	利明
弘法へ小紅の渡し風光る	岐阜市	辻	雅風
春闘のゼネスト知らぬ労働者	三重県四日市市	藤田	勝民

選者吟

月光に苦勞話や桜守

誠

一